

Libra I on

vol. 5

りぶらいおん

特集：中川幾郎氏講演会録

「図書館づくりはまちづくり」
～参画と協働の先にあるもの～

2010年2月の「りぶらまつり」にむけて 「りぶらフォーラムⅢ」を開催しました



岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称：Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。りぶらサポータークラブ（LSC）は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。

中川幾郎氏講演録（概要）

「図書館づくりはまちづくり～参画と協働の先にあるもの～」

日時：平成 21 年 5 月 30 日（土）

14:15～16:10

場所：Libra 301～303 会議室

中川幾郎氏プロフィール

1946 年大阪府豊中市生まれ。同志社大学経済学部卒業後、96 年 11 月まで豊中市役所勤務。現在、帝塚山大学法政策学部教授、日本文化政策学会会長、豊中市図書館協議会委員長。



はじめに

私は、豊中市の図書館協議会の委員長というお役を仰せつかっています。豊中市図書館では「自己評価システム」を作りました。なぜこの評価システムを作らなくてはいけなくなったかという、全国に吹き荒れましたあの指定管理者制度の荒波が襲ってきたからです。

そして、「図書館行政は指定管理者制度にはなじまない」という結論を出して、全国的に注目されました。完全にはなじまないということではなく、部分部分をパーツにして一部分をばらすことはできるけれども、総合的な政策としての図書館行政をすべて指定管理者に任せるということは自殺行為である、という結論です。

中部から関東のほうにも、もう既に指定管理者に移ってる図書館もあるわけですから、今頃そんなことを言われてもという方もおありでしょうが、その理由を今からご説明します。

1. 自治体文化政策の基本的な視点

文化政策は一体何のためにあるのかということ、もう一遍基本から考え直さないといけません。日本文化というのは、実は、もともとのローカルな文化があって存在するのです。

地付きのローカルな文化こそが、本当の市民文化・地域文化だと考えるならば、たとえばこの岡崎の文化も、日本の文化の基底をなす一つの部分であると考えべきです。ですから私たちは、自分の足もとに目を据えて、自分の文化を見直さなければいけません。しかし、このような自分の地域の文化を大事にしようとい

うことを、地方公共団体がやらなくてどこがやるんですかということ、です。

(1) 「文化的に生きる権利」

文化活動の三つの側面に注目

パブルの頃のように、「暇と金が余ったから文化」ではありません。自治体文化政策の根底には、「市民が文化的に生きる権利を地方公共団体は保障するべきである」という理念が明確に存在します。その文化的人権の中身を、「①誰もが自由に豊かに自己を表現する権利、②誰もが社会や時代や他の集団と関わってコミュニケーションできる権利、③誰もがいつでもどこでも学び自分を変えて発達させる権利」として理解し、私はこれを「表現・交流・学習の権利」と言っています。

(2) 文化の次元

文化行政の三つの資源に着眼

では、文化行政はどういう形で手掛けられていくべきでしょうか。

ヒューマンウェアなくしてソフトウェアは存在せず、ヒューマンとソフトがなくして何がハードか、という問題になります。この順番が間違っていたのです。ハードからソフトではなく、ヒューマンからソフト、ソフトからハードと進める。

Libra のように、ハードがすでにきれいに完成されているなら、より一層エネルギーをヒューマンウェア開発に向ける馬力が出るわけですから、ものすごく有利なところに来てると考えたらどうでしょうか。まず人ありて仕組み、人と仕組みありて物、という順番を忘れてはなりません。

(3) ひと・まち・役所

文化行政の三つの舞台と主体に留意

文化政策の領域と主体は三つに分かれます。市民文化開発政策と都市文化確立政策と行政文化改革政策です。私はこれを、市民文化・都市文化・行政文化という三つの領域に分けて、いろんな都市の政策づくりや文化計画づくりをやってきました。

図書館には図書館法、公民館には社会教育法という法律があります。しかしながらこの法律は基準を定めているだけで、そこで行われていることの大半は、地方公共団体の自己責任で行う自治事務です。

市民文化政策とは何かというと、市民の手による市民企画、市民責任事業をどんどん拡大していき、市民同士が横につながる。市民同士の横のチャンネルを増やすこと。市民同士の異種配合をもっともっと増幅させること。そのことによって市民社会の文化密度を高めること。それが市民文化政策の目標です。

2. 図書館づくりは「まちづくり」そのもの (1) ひとづくり・「市民」開発の拠点として

人づくり・市民開発の拠点として、市民が生まれてくる図書館づくりはどのように認知されるのでしょうか。私はここで市民という言葉を使っていますが、これは政治学的に言う市民です。地方自治法という住民ではありません。

(2) 仕組みづくりの拠点として

図書館は市民の中でも、研究熱心で学習意欲にあふれた動機付けの高い人が集まる場所です。ただ本を読むだけでなく、

本を借りに来るだけでなく、もっと能動的に、学習意欲に満ち溢れた自己や社会への開発意欲の高い人々が、火花を散らして出会う場でもあります。単に読書室や資料閲覧室だけでいいという図書館は、私は反対です。セミナー室や交流室、学習研究室、講座室を作れと言っています。

そうすると、公民館と変わらないと言う人がいます。公民館と同じではありません。研究機能がある点が大事です。研究支援機能がある。つまり図書館は市民研究所なんです。

でもただ単に休みたいという人も来ていい。そのように様々なグラデュエーションの市民が次々やってきては休める、楽しめる、活動できるようにしながら、全部が全うできるようにうまいこと組み立てよう、と言っているのです。

(3) 施設づくり(施設の活用)

人をつくっていく、人間関係がつくれる場としての図書館のあり方を考えたい。仕組みができていく場所であり、研究のシステムができていく場所。人と人が協働し合って協働企画事業が出来上がって、そういう実践が積みあがっていく。また、協働企画のスキルが鍛錬されてたまっていく。図書館は、そういう場であってほしいですね。

市民も管理能力を持ち、自分たちでルールを考えて自分たちで管理ができる統治能力を持たないといけません。これをガバナビリティーと言います。自分たちでルール作りをして、自分たちでそのルールを行使できるような、そういう能力を持つことです。

それが生まれてくる場所も、実は施設ではないかなと思います。ですから施設を活用していく場合、どのような活用方法があるかをみんなで議論しながら、こういう施設はこう使えばいい、というような目標となる夢づくりとともに、利用ルールを合わせて議論できるような、そういう集団が生まれてこなければなりません。その担い手となるホンモノの市民に成長するような場が、生涯学習とか図書館のような場ではないのかと思います。

3. 図書館事業の意義と方向の変革

(1) 要求課題と必要課題を精査する

それでは、図書館事業をこれからどのように活性化させるかということです。図書館がカネとヒマの余った人だけが得をする施設では困ります。もっときちんとマーケティングをしていかなければいけません。

それには、図書館の蔵書とか図書館活動のやり方に関する物差しの作り方に課題

があります。私は、必要課題と要求課題を分けましようと言っています。必要課題というのはニーズのことです。要求課題はダイヤモンドです。別の言葉で言いますとニーズは潜在需要、ダイヤモンドは顕在需要とも言います。

(2) 貸し出し事業と自主事業の意義

貸し出し事業だったら「貸してあげます」というスタイルではなくて、読むということの楽しさを、もっと子どもにも広げていくことが大事だし、なかなか図書館に来られない人にも、図書館に来たらこんな楽しいことがあるよと、アウトリーチする必要があります。それから、必要課題事業を掘り起こしていくために、自主事業をやる必要があります。

4. 市民自治と図書館 公共性と「協働」の問い直し

図書館は、市民自治を活性化させる起爆装置、あるいは培養装置になっています。ところが現状では、大衆迎合路線と市民社会開発路線とがグチャグチャに議論されているのが、実際の文化政策議論です。

パブリックとは、公開・共用・共同利用のことです。公開され共同利用することで、社会がよりよくなりみんなが幸せになるという分野は、政府だけが持っているものではありません。

公のプライベート領域と市民側のプライベート領域とがありますが、プライベートという「私」と考えるから間違えるのです。プライベートとは「公」の反対で、「閉鎖」「専用領域」のことです。

民間に移したいというのが民営化です。民間の側からできるだけ参入して、公共領域に意見を言いに入る、これが協働化です。指定管理者の議論に危ない部分があるというのは、安くつくからそこに任せるといえるところがあるからです。下手をすると、何もかも失う危険性があります。

協働には、意思形成段階、意思決定段階、実行段階、評価修正段階と四つの段階があります。これらの頭に政策をつければ政策形成段階、政策決定段階、政策実行段階、政策評価修正段階となります。この四つのプロセスのすべてに、市民がちゃんとかわりが持てる回路が開かれていることが参画です。

参画しなければ、協働はできません。参画の画は計画段階から関わるという意味です。このLibraが作られるときには、計画段階から市民が関わっているはず(政策形成)。議論も公開でやっているはず(政策形成)。決まるプロセスにも市民が関わっています(政策協働)。実行の時も市民が関わります(事

業協働)。そして、何年か経って見直し評価する時も市民が関わります(事業協働)。しかしそれが全部同じ市民である必要はありません。入れ替わり立ち替わり変わってもらって結構です。公開というのも、出たり入ったりも自由です。

協働とは、各プロセスに市民を参画させることです。その行いの経過プロセスを意味します。参画しなければ協働は成り立たない。部分的な参画は、参加と言います。

政策形成段階から市民と一緒にやっていこうとしたら、一緒にやれることはいっぱいあります。しかし行政は、参画する市民を一般公募をかけた場合に、来てくれる市民の層に問題があると泣きます。行政は、経営者として、一緒に痛みも分かち合える感覚の持てる市民がほしいと考えています。これは、市民側の課題です。

5. 行財政改革の落とし穴を見抜く

NPM(New Public Management)理論の無批判な信奉があります。①成果主義、②市場原理の導入、③分権化、④顧客満足志向、①～④のいずれにおいても、我が国では解釈間違いか失敗を犯しています。

6. 図書館自己評価システムの意義と見方

豊中市の図書館は、基本的な政策目標をはっきり体系化し、理念を明確にしました。ここで重視すべき価値の順番は、公共性、政策の有効性、事業の効率性、経済性と考え、間違っても経済性を優先して有効性、公共性を没却することのないようにしなければなりません。

つまり、インプットは経費、アウトプットは生産量、アウトカムは政策の有効性という、この三つを絶えず考える必要があるということです。これが私が冒頭に申し上げた、「いったい私は、何のために、誰のために、何を供給する仕事をするのか」を、一人ひとりが意識しなければならないということです。

その理念をたたきあげるのにも、政策のプログラムを考えるにあたって、絶えず利用者市民、サポーター市民、ボランティア市民と交流しながら、意見がどんどん流入していく形をもっている必要があります。そのようにして運用される図書館は、すごく機動的で戦える図書館になれるよというところから、この政策評価も自己評価システムも、図書館協議会の名において市民と職員との協働で作りました。

※ 講演録詳細は、ホームページで随時掲載していきます。

ホールの利用について 市民活動総合支援センター

【ホール利用の手順】

①利用者登録→②予約→③打合せ→④本申請・使用料納付→⑤利用→⑥附属設備使用料の精算納付
※手続きは2階受付で。③は事前調整が必要です。

① 利用者登録

まだ利用者登録をしていない方は、登録が必要です。この登録がないと利用申請ができません。窓口に来ていただいて説明を聞き、登録を済ませてください。

② 予約

ホールの予約は、毎月最初の開館日の午前9時30分より、1年後の月の利用抽選会を行います。抽選会の翌日からは、インターネットで空き状況を確認し、電話または窓口で行ってください。この際に「①利用者登録」で登録した登録番

号が必要になります。(注)FAXやE-mailでの予約は不可。

③ 打ち合わせ

ホール技術担当と事前の打合せが必要です。内容によってはできないこともあります。チラシなどの印刷前に打合せをお願いします。打合せには、利用内容、タイムスケジュール、舞台などの配置計画が明らかであると円滑に進めることができます。

④ 本申請・使用料納付

利用する日の20日前までに、本申請・使用料を納付してください。ホール担当との打合せを済ませた後に本申請をお願いします。使用料は、まず基本使用料をお支払いいただき、附属設備については、使用した分について利用当日に納めていただきます。

⑤ 利用 ⑥ 附属設備使用料の精算納付

利用する際は、利用証を受付で提示してください。貸付ボードに利用証をはさみお渡します。帰りに返却し実際の利用人数を報告してください。

【留意事項】

- ・ホールは午後10時までの利用となりますが、この場合本館駐車場への9時過ぎの入館はできません。原則として、東駐車場をご利用ください。また、駐車場は受付でチェックをしていただければ3時間まで無料になりますが、主催者であっても3時間までしか無料になりません。
・利用者登録の内容を変更する場合は、すでに発行した利用者登録証を持参し、窓口で行ってください。電話等での変更は誤りの元になります。
・準備と片付けの時間を充分にとって、計画・利用をお願いします。

【これまでの主な利用実績】

ピアノ発表会、コンサート、ロックライブ、ライブ&パーティー、シンポジウム、講演会、映画会、展示会、朗読劇、ワークショップ、交流会など

information @ your libra

聞く、読む、観る、話す、楽しむ、伝える。

私の一冊 vol.3 「天使の運命上・下」 イサベル・アジェンデ PHP 研究所



読み出したらやめられない小説にめぐりあうこと、本の世界に入って、登場人物たちと同じ時間を生きる感覚を味わうことは、読書で得られる無常の喜びの一つです。ラテンアメリカではベストセラー作家の一人であるイサベル・アジェンデは、どの作品でもそんな至福の時間を提供してくれる稀有な作家のひとりです。

19世紀、南米チリの港町で、捨て子として3人兄妹のイギリス人一家に引き取られたエリサ。とびきり魅力的で曲者揃いの登場人物たちが、エリサの幼少期を彩っていきます。やがて成長し、アメリカに渡った恋人を追って、ゴールドラッシュ真只中のカリフォルニアへと旅立つのですが...

これでもかとはばかりに次々とやってくる困難を乗り越え、自分の道を切り開いていくエリサの姿に、何度も拍手喝采を送りたくなります。またどの登場人物たちにも、それぞれの物語があり、強いシンパシーを感じさせます。本書はLibraの1階レファレンスライブラリーのスペイン語文学の棚にあります。このストーリーは、時代を経てアジェンデのデビュー作「精霊たちの家」のにつながっていきます。併せて読まれることをお勧めします。

三浦 健仁 (みうらたけひと)



中央図書館企画管理班所属。岡崎わかし館と内田修ジャズコレクション展示室の魅力向上のため、事業の企画から実施まで取り組むほか、図書館視聴覚ブースの「りぶら映像アーカイブス」も担当しています。岡崎の懐かしい映像、ぜひご覧ください。

「りぶらフォーラムⅢ」報告

岡崎まち育てセンター・りた

去る7月18日(土)、りぶらフォーラムⅢ「あなたの知らないLibra」がLibraホールにて開催されました。今回のフォーラムは、来年2月27、28日にLibra全館を使って行われる予定の「りぶらまつり」に向けて、①これまで行われてきた「あなたの知らないLibraの活用法」を知る、②延藤先生による高知県赤岡町の「冬の夏祭り」紹介、③参加者一人ひとりがやりたいことを提案し、そのアイデアをつなげてLibraのガリバーマップ(※)に配置するワークショップと盛りだくさんの内容で、予想を上回る盛り上がりを見せました。

※ガリバーマップ：1枚の大きな地図。その上に乗って、まちや施設を巨人ガリバーのような視点で俯瞰し、地図上に意見を集約するまちづくり手法の一つ。

「りぶらまつり」に向けて

「Libra」の語源は、『Library(図書館)』と『Liberty(自由)』の2つの英単語ですが、「Libra」にはスペイン語で『解放せよ』という意味もあります。そこで、「りぶらまつり」は、「これまでLibraで培われた活動の蓄積」と、「参加される人々の個性」を解放する、“Libra解放区の日”として特別で自由な時間を創りたいと考えています。



招待状による広報



今回は広報方法に工夫を凝らし、新たな参加者層を開拓することを目指しました。それが「招待状」方式です。チラシの代わりに高級感のある結婚式のそれを思わせるようなデザインの招待状を作り、LSC交流部が中心となり、500枚の招待状を「ぜひこの人に来てほしい」という方々に直接手渡しました。

また、1枚1枚に通し番号をつけ、来場者に抽選で当たるLSC特製プレゼントの詰め合わせ(りぶらいおん缶バッジ、Libraボールペン、手づくりエコたわし、りぶら・ぶらりマップ、Tiger Caféドリンク券)を準備するなど、LSCのネットワークや活動の蓄積を存分に活かした広報活動を行いました。こうした努力が功を奏して、約120名もの方々に参加して頂きました。

ホールの特性を活かしたワークショップ

ワークショップでは、一人ひとりに配ったA4サイズの首かけボードに「りぶらまつりでやりたいこと」を記入してもらい、お互いにそれを見ながら、「やりたいこと」や「使いたい場所」が近い人同士がつながってグループを作っていく「人間KJ法(※)」により、9つのグループが生まれました。皆さんの意見を、ホールいっぱいに広げた約1/20大のLibraのガリバーマップに貼り付けていき、完成したマップをステージに吊り上げ、全員で内容を確認しました。

これまでワークショップは会議室で行うことが一般的でしたが、Libraホールの特性を活かした大掛かりな仕掛けは、「これまでになかったLibraの活用法」の実験でもあり、自由な発想を“解放”するよいきっかけになったのではないのでしょうか。その成果について、詳しくは次頁をご覧ください。

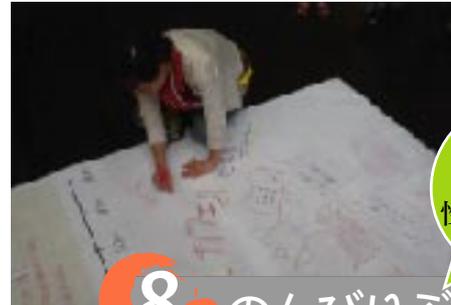
※KJ法：たくさんの意見を整理する際に、似たものをグルーピングしてまとめ、意見の関係性を図解化する手法。



りぶらまつり

でこんなことがしたい!!

りぶらまつりに向けて、9つのグループが生まれました。この他にも「こんなことをしたい」という方のご参加、「こんな人を誘いたい」という方のご紹介をお待ちしております。みなさんの「活動の蓄積」と「個性」を、りぶらまつりで解放しましょう。



8 のんびりぶら

- ・@国際交流センター(1F) 会議室、3階テラスなど
- ・テラスでのんびり! 『足湯』
- ・みんなで朝まで! 『生ディスカッション』
- ・大人が主役! 『お酒あり』
- ・吹き抜け活用! 『冬の流し』
- ・国際交流! 『万国旗博覧会』
- ・多国語で発表! 『新しい民』

本が好き
We love books

5 Labook

- ・@ポピュラーライブラリー、グループ室など
- ・見つけよう! 『私の1冊』
- ・伝えよう! 『私と読書術』
- ・新たな発見! 『図書館探検隊』
- ・ひとりの時間をつなげよう! 『詩のボクシング』
- ・本の養子縁組! Book Adoption

4 アーティスティックさろん

- ・@お城通り、お堀通り、廊下、階段などの共有スペース
- ・階段を飾ろう! 『特大雑飾り』
- ・自分の分身を作って並べよう! 『まちを着飾る展』
- ・みんな自分をPR! 『市民団体PRブース』
- ・全員参加! 『自由な巨大ペイント』

学ぶ楽しさ、
伝える喜びを
アートしよう



2 ホールイン1

@ホール

- ・生演奏BGM付き! 『大人向け朗読会』
- ・プロムナードはバージンロード! 『りぶら婚』 (階段で挙式、ホールで大披露宴)
- ・子どもが主役! 『子どもの音楽会』
- ・世界の短編全ジャンル! 『映画三昧』
- ・素人・有名人混在! 『漫オライブ』
- ・コスプレファッションで! 『同人誌発売会』
- ・地場産業を活性化! 『即売会と実演会』
- ・老若男女一緒になって! 『時事討論会』

ホールで1番の喜びと1番の笑顔を

1 みんな集まれストリート

@ストリート広場など

- ・忘れまい、あの豪雨! 『岡崎集中豪雨ボランティア同窓会』 (もちつき、炊き出しを囲んで)
- ・宇宙と融合! 『太極拳』
- ・年の差なんて関係ない! 『みんなで踊る社交ダンス』

お祭り広場
をつくろう



3 温

@岡崎むかし館

- ・昔なつかしい
- ・市電の頃
- 『昔のま』

子どもは遊び
大人は癒しの
時間を

9 わくわく子育てカフェ

@3階和室

- ・わくわくコース、ルンルンコース、まんぷくコース！
- 『子育て託児付き癒しカフェ』
- ・手遊び、お絵かき！『身体を動かす読み聞かせ』



7 心のうんどうかい

@芝生広場、プロムナードなど

- ・芝生の上に寝転んで！『夜空の星』
- ・着ぐるみで！『缶けり』『鬼ごっこ』
- 『フォークダンス』『フルーツバスケット』
- ・集まれ昭和のヒーロー！『怪獣まつり』
- ・道にはなが〜い白い布！公道を使った巨大ペイント
- ・わらじを履いて大ウォーキング
- ・知りあい、学びあい、育ちあう！まちで演劇

心も体も解放
して、夜まで
遊ぼう

6 とびだすガチャどん

@創作室、ストリート広場、康生など

- ・Libra発！康生を練り歩く『ちんどん屋』
- ・木のおもちゃをつかって遊ぼう！
- 『Libraのお庭で遊び隊』
- ・こどものまち出現！『りぶら横丁』
- ・身近なもの、自然のものを使って！
- 『即席楽器生演奏とトミック』
- ・今日のベストショット！『フォトコンテスト』

ガチャガチャ
騒いで、外へ
飛び出そう

絵になる祭り
をつくらう

まちへ飛
び出そう！

延藤先生まとめ

1. 次から次へと思いきり楽しい
取り組み、『とびだすガチャどん』
ちんどん屋、フォトコンテスト、ふうせ
ん遊び、中高生アート⇒表現の時代)

2. 何げない市民の英知をあつめた触発の場、
『のんびりぶら』
温故知新、朗読、昔話、ジャズ、(冬なのに)流しそ
うめん⇒心あたたまる笑顔

3. 俄然、日常を逸脱する『心のうんどうかい』
子どものまち、遊びながら、人とまちの関わり、知り合い、学びあい、
育ちあい
⇒タンケン、ハッケン、ホットケン、みんな着ぐるみでいこい！

4. 隣人も、みんな宇宙と融合しよう
時事(ジジイ)討論、パパア討論、ルンルンで、太極拳、もちつき、
私と他者がつながっている！

5. 具合のよい、遊び心で『La Book』や『わくわく子育てカフェ』
詩のボクシング、同人誌、わくわくコース、ルンルンコース、マンガクコース

みんなで“TSUNAGARING”

国を超え、
年齢を超え、
性別を超えて

ら

(ICC)、
など

そうめん』

会』

話の発表会』

イブアリー

印刷
作業室

事務室

活動
コーナー

情報コーナ

展示室

乳幼児室

カフェ・レストラン

ストリート広場

芝生広場

子ども図書室

会議室
301:302:303

和室

屋内庭園

3F

301:302:303

ICC

和室

屋内庭園

芝生広場

印刷
作業室

事務室

活動
コーナー

情報コーナ

展示室

乳幼児室

カフェ・レストラン

ストリート広場

子ども図書室

会議室
301:302:303

和室

屋内庭園

3F

温故知新

かき館など

し！『寸劇』

頁を見てみたい！

ち並み写真展』

歴史を未来
へつなごう

りぶらグッズ、
 愛フェス 2009 で先行販売!!
 9/5(土)・6(日) ←入場チケット(500円)をLSCに投票してね!
 モリコロパークでりぶらいあんを探せ!!

Libraを中心に、
 人が歩くことで町の魅力を再発見し、
 活性化をサポートするツールです。

茶畑和也氏の素敵なイラストが魅力!!

PostCard



岡崎りぶらぶらりマップ



街灯編



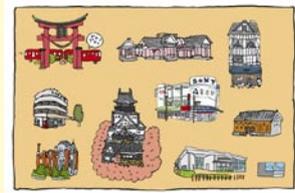
食べ物編



人物編



観光編



建物編



二七市編

岡崎市立図書館は岡崎市民の知恵袋。
 本や学習道具を入れて、Libraの通い袋としてご利用ください。



缶バッジ (32mm)



コットンバッグ
 「りぶらいあん」
 260 × 330 (mm)



トートバッグ
 「Libra | on」
 360 × 300 × 140 (mm)



トートバッグ
 「りぶらサポータークラブ」
 360 × 300 × 140 (mm)

トートバッグ 1,000円
 コットンバッグ 500円
 缶バッジ 100円

9/27: 福祉まつり (中央総合公園) で販売
 11/1 から: Libra 市民活動センターで販売

絵はがき 100円 (6枚セット 500円) ← 8/30 から市民活動センターで販売
 岡崎りぶらぶらりマップ 100円 ← 市民活動センターで好評発売中

10月17日(土) 10:00 ~ 12:30 「対話集会」開催
 1部: 前期プロジェクト活動報告 / 2部: ワークショップ
 参加自由: Libra 利用者の皆様の声をお聞かせください。

りぶらサポータークラブ 活動カレンダー

2009年9月 ●全体事業 ●プロジェクト ●広報部 ●事務局 りぶらサポータークラブ活動カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
31	1	2 休館日	3	4	5	6
13:00つながろうP	14:00役員会		13:30図書館まつり 実行委員会:ポラ室 16:00調べ学習P	14:00行動観察P 15:30生涯学習P	10:00愛フェス2009: 愛地球博記念公園	10:00愛フェス2009愛 地球博記念公園
7	8	9 休館日	10	11	12	13
14:00ボランティアP 例会 19:00未来企画P	14:00行動観察P 15:30生涯学習P		10:00ひざ掛けP 10:30親子で遊ぶリト ミック:創作室(りぶ らっこ☆ふぁみりー)	10:00デジタルP		
14	15	16 休館日	17	18	19	20
	10:00ボランティアP: 刈谷市民ボランティ ア活動支援センター 14:00編集会議		10:00りぶらっこP 14:00シネマP 18:30運営委員会			
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26	27
			16:30むかし語りP			福祉まつり:中央総 合公園
28	29	30 休館日	1	2	3	4
	14:00編集会議					

2009年10月 ●全体事業 ●プロジェクト ●広報部 ●会議 りぶらサポータークラブ活動カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
28	29	30	1	2	3	4
			9:30シネマP	14:00行動観察P 15:30生涯学習P		
5	6	7 休館日	8	9	10	11
14:00ボランティアP 例会 19:00未来企画P	14:00役員会		10:00ひざ掛けP 14:00「第三の男」上 映会(シネマP)	10:00デジタルP		
12 体育の日	13	14 休館日	15	16	17	18
	14:00行動観察P 15:30生涯学習P		10:00りぶらっこP:ポ ランティア室 14:00シネマP 18:30運営委員会		10:00前期プロジェク ト活動報告・対話集 会	
19	20	21 休館日	22	23	24	25
	14:00編集会議		14:00調べ学習P 16:30むかし語りP: むかし館			
26	27	28 休館日	29	30	31	1
	14:00編集会議			14:00広報誌印刷製 本		

りぶら イベントカレンダー

こども図書室のイベント 23-2311			
毎週火曜日	11:00～11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	無料・おはなしのみり ころころくまさん
毎週木曜日	11:00～11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	無料・おはなしのみり ころころくまさん
毎週木曜日	16:00～16:30	おはなしと紙しばいの会	無料・職員
毎週土曜日	14:30～15:00	おはなしと紙しばいの会	無料・おはなしのみり ころころくまさん
第2・4月曜日	16:00～16:30	おはなしと紙しばいの会	無料・職員
9月19日(土)	13:00～13:30	外国語のよみきかせ 英語	無料

内田ジャズコレクションレコードコンサート 23-3100		
毎週土曜日	19:00～20:30 定員10名 要事前申込	内田ジャズコレクション

岡崎むかし館 23-3167		
第4木曜日	むかしばなし紙芝居	無料 おかざき昔語りの会

りぶら国際交流センター 23-3148		
9月7日(月) 14:00～16:00	チャットサロン中国語 中国語だけでおしゃべり	■無料 ■定員15名
9月17日(木) 9月24日(木) 10月1日(木) 14:00～16:00	ことばの教室 イタリア語 初心者向け語学講座	■無料 ■定員18名
10月4日(日) 10月11日(日) 10月25日(日) 14:00～16:00	ことばの教室 インドネシア語	■無料 ■定員18名 9/14～受付
10月15日(木) 11:00～13:00	外国の料理を学ぼう フィリピン風焼きそば	■500円 ■定員20名 ■往復はがきで申込(10/2まで)
10月18日(日) 14:00～16:00	ワールドレクチャー ベトナム 日本語で母国の紹介	■無料 ■定員40名 ■往復はがきで申込(10/2まで)

定例の活動情報

団体名	日時	内容	場所	連絡先
はなみずき コーラス	隔週金曜日 10:00～	■50歳以上の歌うことの好きな方	スタジオ1	アクア事務局 080-3071-6050
アロマヨガ	隔週月曜日 10:00～	■香りに包まれてヨガをしよう	スタジオ1	おかざきLOHASの会 柴田090-6597-5588
おとなが楽しむ 朗読の集い	第2・4火曜日 18:30～20:00	■あなたの声を活かして、本を 読んでみませんか ■500円(飲物お菓子つき)	201会議室	まみむめもクラブ 築25-5197
ジュニアジャズ オーケストラ 演奏者	第2・4土曜日 13:30～16:30	■小学4年～高校生 ■2,000円	スタジオ	図書館交流プラザ総務管理課総務班 23-3100 詳細はLibraHPで
ジュニアジャズ オーケストラ サポーター	第1回会議 9月19日(土) 10:00～	■小学4年生以上で、レッスン・コン サート・運営会議の実施日に活動で きる方	りぶら内	図書館交流プラザ総務管理課総務班 23-3100 詳細はLibraHPで
気功太極拳	毎週木曜日	■始めてみませんか 気功太極拳	スタジオ1	日本健康太極拳協会 岡崎鶴の会21-1568

りぶら イベントカレンダー

その他のイベント情報

日付	時間	催事名	場所	主催・問合せ先/その他
9月4日(金)～ 全5回	10:30～11:30	0・1・2歳のための 英語あそびde親子のふれあい	りぶら内	■10組 ■育遊空間べる★す～ず ☒で申込info@berceuse.in
9月5日(土)	13:00～16:30	ピア・カウンセリング公開セミナー (岡崎市相談支援事業)	303会議室	■無料 ■20名 ■NPO法人岡崎自立 生活支援センター“びあはうず”
9月5日(土)	10:30～11:00 11:05～11:35	全国訪問おはなし隊がやってくる ①キャラバンカー本閲覧 ②おはなし会	ストリート 広場	■中央図書館 23-3167
9月7日(月)	10:30～11:30	親子ふれあいピクス	103会議室	■100円/1組 ■各20組 ■社団法人 日本3B体操協会 ■親子氏名・子年齢・電話番号を明記の 上、FAX53-5676まで申込
9月8日(火)	10:00～12:30	岡崎市おもちゃ図書館 きらら 10 周年記念 子育て支援者のための連続講座	301・302 会議室	■各回80名 ■各回500円 ■岡崎市社会福祉協議会 FAX23- 8706/電話23-8705(担当井戸田)
9月8日(火)	10:00～11:30	寺子屋☆脳きらり 脳トレーニング・回想法・ストレッチ	103会議室	■市内在住60歳以上の方 ■30名 ■長寿介護予防班23-6837
9月10日(木)	10:30～11:30	親子で遊ぶリトミック!	創作室	■15組 ■500円 ■りぶらっこ☆ふあみ りー ■市民活動センター23-3114
9月12日(土)	13:30～16:00	★NPO座談会★ NPO法人を検討している方対象 課題をみつめてアクションプランを 考える	101会議室	■20団体 ■300円 ■市民活動センター23-3114
9月14日(月)	10:30～11:30	親子ふれあいピクス	103会議室	■100円/1組 ■各20組 ■社団法人 日本3B体操協会 ■親子氏名・子年齢・電話番号を明記の 上、FAX53-5676まで申込
9月17日(木)	14:30～16:00	森永卓郎講演会 「男と女のあり方が変わる 経済も かわる」	ホール	■無料 ■要整理券 8/17(月)岡崎商 工会議所1Fロビーにて配布 ■岡崎商工会議所53-6190
9月19日(土)	10:00～12:00	読書会たからじま 「氷石」「水底の棺」を読んでおしゃ べりませんか	102A	■連絡先 山田57-8067 本多53-3974
9月25日(金)	18:00開場	Libraシネマ・パーティ 「20世紀少年第1章」上映	ホール	■申込不要 ■定員270名 ■岡崎市図書館交流プラザ23-3100
9月26日(土)	14:30開場 17:40～ 19:00～	Libraシネマ・パーティ 「20世紀少年第2章」上映 トークセッション・レセプションパーティ	ホール	■往復はがきで申込(8/21必着)無料 ■定員270名 ■岡崎市図書館交流プラザ23-3100
9月27日(日)	10:00～11:00	ゲームで楽しむキッズイングリッシュ	301会議室 103会議室	■各15名 ■育遊空間べる★す～ず ☒で申込ryoko-may@docomo.ne.jp
9月29日(火)	10:00～12:30	岡崎市おもちゃ図書館 きらら 10周年記念 子育て支援者のための連続講座	301・302 会議室	■各回80名 ■各回500円 ■岡崎市社会福祉協議会 FAX23- 8706/電話23-8705(担当井戸田)
10月8日(木)	14:00～	「シネマ・ドリぶら」映画上映会 『第三の男』	ホール	■無料 ■定員280名
10月17日(土)	10:00～12:30	対話集会 前期LSC活動報告&ワークショップ	301・302・ 303会議室	■無料 ■市民活動センター内・りぶらサポー タークラブ事務局 23-3114
10月25日(日)	10:00～11:00	ゲームで楽しむキッズイングリッシュ	301会議室 103会議室	■各15名 ■育遊空間べる★す～ず ☒で申込ryoko-may@docomo.ne.jp
11月28日(土)	14:00～15:30	詩と音楽の午後 詩の朗読をしたい方を募集中です	ホール	■当日までに2回ほどの打合会を予定 ■市民活動センター内・りぶらサポー タークラブ事務局 23-3114

前号の特集で取り上げられた『りぶらぶらりマップ』。これを両手で広げつつ、早速りぶら周辺ぶらりと歩いてみました！

温かみのある色で描かれたマップ。口の無い人々から、またコミカルな雰囲気の小動物や建物から、市民の息遣いが聞こえてくるよう。蝉の声に包まれて神社や店を巡り歩き、気分はすっかり異邦人。木々も、民家も、お団子までも、歴史の刻まれた味わい深い物に見えてくるから不思議です。

「りぶらぶらりマッププロジェクト」第2弾はポストカード。花見団子の串の先や、五平餅の色合い、味噌田楽のぶちの色まで、製作者茶畑さんのプロのこだわりと熱い思いが隅々まで行き届いたカードです。眺めていると、岡崎市民であることが何やら誇らしくなってきます。かくいう私、実は岡崎市民歴まだ5カ月。「よし！今日も岡崎市を堪能するぞ！」と、マップから顔を上げて再び歩き出すのでした。



岡崎公園の大黒松は、「いそくべからず」（東照公遺訓）の見本のようでした。
(文/絵 きむらみわ)

「りぶらサポータークラブ」のご案内

図書館が好きな方、何かボランティアをしてみたい方、岡崎のまちが好きな方、文化や国際交流の発展を願う方など、いろいろな人が集まっています。

りぶらサポータークラブを通じて、Libraをより身近に感じながら、一緒に、より魅力のある場にしていきませんか？

- Libraのサポーターの集まりです。
- 市民とLibraが協働して作り上げています。
- Libraがより活用されるよう考え、行動します。
- Libraでの利用者の活動をサポートします。
- 市民の生涯学習を応援します。

● 編集後記 ●

前号の小欄「編集スタッフ募集」に早速のレスポンス有り!! やったあ! なんと、編集スタッフが一気に倍増しました! 新しい戦力が加わり、紙面もどんどん進化を遂げます。今後は皆様からの投稿欄も検討中です。読むだけじゃない、みんなで作ろうLibra I on! 参加してね♪

会員募集

この会の趣旨に賛同し、お力添えをいただける方は、ぜひご入会ください。また、会の目的を達成するために、賛助・協力してくださる方々のお力が必要です。何卒、私たちの趣旨をご理解いただき、絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- (1) 個人会員：年会費 2,000円
- (2) 団体会員：年会費 2,000円
- (3) 賛助会員：1口 1,000円(随時)

年会費の期限は4月1日から翌年の3月31日とし、賛助会費は随時受け付けます。年度途中の入会における年会費については、9月末日以降の入会をもって半額とし、納入された会費は、返却しないものとします。年会費は、名簿の作成・通信費等の会の運営費として使用し、賛助会費は、会の運営費を補うほか、事業実施等の経費として使用します。

Libra I on vol. 5 2009/9/1 発行 2008/11/1 創刊

◆編集・発行 りぶらサポータークラブ 広報部

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内

りぶらサポータークラブ事務局

TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142

librashien@city.okazaki.aichi.jp